



ITを駆使した働き方改革を実現

このたびサイバーテリジエンスは、仕事と家庭を両立して働き続けられる職場環境や女性の活躍推進など、特に優良な取り組みや他社の模範となる独自の取り組みを行う企業として、岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレン特企業に認定されました。

過去9年間で、のべ147社が選出されたのですが、歴代の認定企業を見ると誰もが聞いたことのある大きな会社ばかりで、どう見ても私たちのような小さな会社は背伸びしているようにしか見えませんん……

県が定める認定基準を満たすためには、思い切った改革をしないとクリアできないのですが、サイバーテリジエンスが挑戦してきた一番の目的は、政府の重要政策のひとつである「働き方改革」に取り組むことで、当社のような知名度も信用力もない会社が、大企業と同じ土俵

挑戦しようと考へたとき、私たちが選ばれるためにはワーク・ライフ・バランスの充実は避けられないと感じています。

これから、会社を発展させ事業拡大しようと思つても、肝心の人が育たなければ単なる妄想で、今のような人数ではすぐに限界が来てしまいます。

調査機関が発表する5年後の未来は、労働力人口が583万人も不足すると推測される深刻な社会問題が目前に迫っています。いま、企業が努力すべきことは、女性の活躍、テレワーク環境を整える、働くシニアを増やす、働く外国人を増やす、生産性を上げるなど、年齢や性別も価値観の違う人たちで、互いに認め合い「共助」していくことです。

具体的に評価されている項目は、中ページに記載しましたので、ぜひ御覧ください。

Cyber Intelligence お問い合わせ重視のホームページ制作はサイバーインテリジェンスの得意技です！



◆岐阜新聞に掲載されました。





岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進 エクセレント企業
(株)サイバーインテリジェンス

岐阜市・情報通信業

従業員数／男性4名 女性10名 計14名 ※令和元年12月1日現在

エクセレント
POINT

- ①IT環境の充実など業務改善や社員の意識改革による労働時間削減
 - ②テレワークの導入による多様な働き方の支援の導入
 - ③年5日の育児目的休暇や時間単位で取得可能な看護・介護休暇の導入



常に仕事の状況を共有することで休みも取りやすく、社内には2回の育児休業を取得した男性社員も。

ITを駆使した働き方改革を実現

サイバーテリジエンスでは、長時間労働の解消に向けた業務改善のため、スペック不足による作業の待ち時間軽減に向けた高性能パソコンの導入や、入力ミスなどを軽減するための1人2台のモニターアームなどを実施。また、始業や終業、休憩時間など1日6回のチャイム

を鳴らして時間に対する意識付けを促したり、毎週水曜日にノー残業デーを設けるなど、ハードとソフトの両面で働き方改革に取り組む。その結果、時間外労働時間ゼロを達成。さらに、各社員が担当する仕事状況を共有できる業務管理ソフトを導入したことにより、急に仕事を休んだ際にも誰もが進捗を把握して業務の代行ができるようになり、有休取得促進に大きな成果をもたらした。



自宅でも社内データを使用でき、テレワークでも通常業務と同じ作業が可能。



最近「人の幸せ」について、印象深い出来事がありました。私の地元で中学校時代の同窓会があり、30年ぶりに当時の恩師である先生にも再会することができました。懐かしい同級生と会話が盛り上がり、皆で先生のもとへ挨拶に行くと、当時の担任は校長先生の職務を終え教育委員会にいらしたことでした。そして、いま私が会社経営していることを知ると「えっ！あの渡辺が社長をやっているのか！」と、田を丸くして驚きとても喜んでくださいました。それもそのはず……私のような横着者は、いつも先生を困らせていましたので、なにかあると職員室で叱られるタイプだった印象に残っています。冗談交じりで「あの渡辺が立派なった姿を見ることが、本当に嬉しいよ」と。そこで、ふと思いました。「うして先生を

喜ばせるために頑張ってきたわけではなくても、自分の目標に向かって一生懸命に努力していることが、意図せず「他人の幸せにも貢献している」そう感じたのです。もし私が無職でフランフランしていたら、心の中で「本当に大バカ野郎だな…」と悶えうつとも思わないはずです。つまり、人のために頑張っているわけでは無くとも、自分が努力して人生のステージを上げていく姿を見て、それを喜び幸せを感じてくれている人も大勢いるわけです。私は、世の中の8割の人は、人を幸せにすることに對して、高くて厚い壁を感じていると思います。例えばこんな風に。

今まで頭が回らない。
・もつと、お金も時間もあれば幸せいできるかも知れないけど、今の私じゃ…
・自分が犠牲になることで、相手を幸せいにすることなりできるけど…

」のように、自分の置かれている環境や、パートナーとの関わり方で「人を幸せいにする」となど、程遠いと考えている人は多いのではないか？ そういう私も、つい5～6年前まで「自分が事業で成功して幸せいになつたら、他人の幸せも考える余裕が出るかも。でも今はそんな余裕は無い」。いつもやつて生きてきましたが、幸せとは程遠く、いつも苦しくて辛い毎日でした。

しかし、あるきっかけで「自分の経験や学んだことを通じて人の幸せいに貢献できる」という考え方へ変わってから、不思議と成功体験が増え、

技しているわけではなく、自分の目標や夢を叶えるため（自己実現）に全力でプレーしているわけで、私たちは、そういう姿をみて心が揺さぶられ感動しそときには涙を流して「ああ良い試合をみさせてもらつた！」自分も頑張ろう！」と、生きる希望や次なるステージを掲き立てられるわけです。そうやって考えると、中途半端な努力や全力でやってない仕事には、相手の心が動くものは無く、成功体験も得られないはずです。いまの社会は、成功体験が乏しい人が多く自己肯定感が低いと聞くのですが、私の経験では、自分に与えられたリソース（生まれ育った境遇や周りの環境の全て）をフルに活用して、信頼貯蓄を積んでいくことで小さな成功が積めると思います。その小さな成功を何度も繰り返すことで、ある時ふと気づいたら「人の幸せ」にも貢献ができると。

自分の成功体験が人の幸運の一因となる

か考えられない。

それが自信にもなりました。